

自己点検・自己評価

自己評価及び学校関係者評価について

本校では平成16年に厚生労働省から示された「看護師等養成所の教育活動に関する自己評価指針」を基に、全教員で全項目の評価を実施しようと試みたが、資料が乏しいために評価が困難であった。そこで平成17年「学校評価準備委員会」を発足させ、全教職員を対象に、学校評価の考え方を共通理解していった。そして、平成17年度の活動目標を「学校評価要綱の作成」と「授業評価要綱の作成」とした。

平成19年～20年にかけて、教育課程全体の自己評価を実施した。看護師教育の「基本的考え方」に示された、卒業後も主体的に学び続ける学生の育成と実践能力を高める教育について検討を重ねた。

平成24年本校50周年記念誌発行に合わせて、全体の自己点検、自己評価を実施し記念誌を公的機関、看護学校、高等学校等、県下345施設に送付し外部への公表を行った。

平成27年度には、学校評価規定を作成し、評価指針を整理し評価を行っている。本校の教育理念でもある民間医療に貢献できる看護師の育成を目指し、学校の質の向上につながるよう毎月開催される理事会にて学校報告を行い、承認を得ながら学校運営を行っている。令和元年度には新たに学校関係者評価会を開催し、平成30年度の自己点検結果及び学校関係者評価の結果について報告した。なお、令和元年度の関係者評価については新型コロナウイルスの感染防止対策により実施していない。

平成30年度 自己点検・自己評価

1. 学校運営評価の概要

学校運営評価の体系は厚生労働省の示す「自己点検・自己評価指針」を参考に「教育理念・教育目的」「教育目標」「教育課程経営」「教授・学習・評価過程」「経営・管理過程」「卒業・就職・進学」「地域社会/国際交流」「その他：この学校で学べてよかったと思う」の大項目8項目、中項目として12項目を設定し、全43項目評価を4段階評価にて行った。

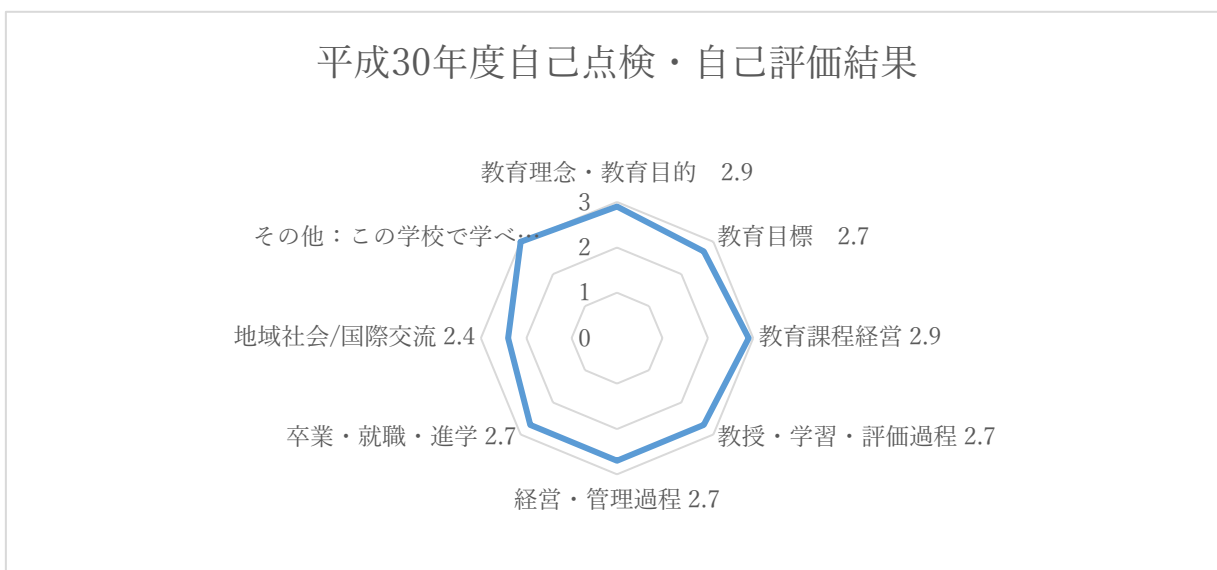
4：よく当てはまる

3：大体当てはまる

2：あまり当てはまらない

1：全く当てはまらない

2. 自己評価結果



概ね、全項目 2.5~3 の評価であった。評価指数 2.5 以下の項目は「地域貢献・国際交流」の項目であった。この項目に関しては例年他の項目の評価に比べ低評価であったことから、平成 30 年度には地域貢献活動として学校祭を実施した。その結果平成 29 年度の評価点より若干高い評価が得られた。